

コロンビア経済情勢（11月分）

11月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

【ポイント】

- 第3四半期の経済成長率は3.3%。
- 年内の地域内経済成長率は0.1%となる見通し。
- 全国ストライキによる経済損失は推計1兆4,000億ペソ。

【本文】

1 主な出来事

<国内情勢>

（1）経済見通し（15日、当地紙報道）

国家統計庁は、今年の第3四半期のコロンビアの経済成長率は前年同期と比較して3.3%となった旨、報告した。部門別の成長率では、金融部門の成長率が8.2%と際立っており、続いて小売業が5.9%となった。教育・保健4.3%、科学技術3.7%、不動産3.0%、電力2.8%、農業2.6%、製造1.5%、鉱業1.0%となった。マイナス成長したのは、建設-2.6%、情報通信-0.6%となった。

（2）2020年経済成長に向け家計支出は好調（8日、当地紙報道）

Raddar社の報告書によると、5.5%から6%の拡大で本年を終えると見込まれる好調な家計支出の影響を受けて、2020年のコロンビアの経済成長率は3.6%から3.7%となる可能性が高い。チリ、エクアドル、アルゼンチンなどで家計支出が縮小しているのと対照的である。

（3）第3四半期の経済指標（13日、当地紙報道）

コロンビア経済の各種指標が公表されたところ、景気動向にポジティブな指標としては、エネルギー消費（前年同期4.2%増）、家計支出（7.7%同増）、車両販売台数（同5.9%増）、コーヒー生産量（同9%増）、金融部門の利益（同50%増）が挙げられる。また、安定している指標としては、石油生産量（同3.3%増）、工業生産指数1.6%が挙げられる。ネガティブな指標としては、輸出額（同▲4.7%）及び失業率が挙げられる。

（4）政府は、税制改革法案に関する大きな変更点を発表（27日、当地紙報道）

26日、税制改革法案の趣旨説明が国会で行われたが、最近の抗議行動を受けて内容が大幅に変更された。ドゥケ大統領は、消費者の負担を緩和するために、毎年3日間の付加価値税免税日を設けることが本法案に盛り込まれた旨、述べた。同様に、人口の20%に相当する貧困層には、付加価値税を還付し、最低額の年金しか受給していない高齢者の医療負担を減らす。また、失業率が高い18歳から28歳までの若年層の雇用へのインセンティブを設ける。一方で、若年層のパートタイム契約を可能にする条項に関しては、抗議行動に配慮して、取り下げられた。

(5) 経済・社会特別区 (ZESE) の創設

政府は、ベネズエラとの国境地帯であるノルテ・デ・サントアンデール県、ラ・グアヒラ県、アラウカ県に、キンディオ県アルメニア (Armenia) 市、チョコ県キブド (Quibdo) 市を加えた地域を企業誘致のための税制優遇を実施する経済・社会特別区 (ZESE) とすることを発表した。これにより、国内外からの工業、農業及び商業部門への投資を呼び込むことによる地域の経済成長と起業の確保が狙い。投資家は、今後5年間、これらの地区で法人税が免税される。

(6) 9月までの建設許可面積が4.6%減少 (14日、当地紙報道)

国家統計庁の報告によれば、2019年1月から9月までの期間に15,524,221平方メートルの建設が承認された。前年同期と比較して4.6%下落したこととなる。承認された地区の内、非居住目的地では11.5%の減少、住宅目的地では2.5%の減少となった。

(7) トヨタ社はコロンビアでハイブリッド車の販売開始 (8日、当地紙報道)

トヨタは、カローラの2020年モデルを発表した、これはコロンビアでの、クリーテクノロジー搭載車両の販売に対応したもので、コロンビアで初めてのハイブリッド車の販売となる。

(8) 石油産業5社が新たにコロンビアに参入 (15日、当地紙報道)

CNOOC Petroleum, Vetra Exploración y Producción, Petroleos Sud Americanos, Interoil Colombia, Lewis Energy, Permanent Area Allocation Process (Ppaa) の外資系5社は、コロンビア国内の56鉱区で行われる入札に参加する。CNOOC (China National Offshore Oil Corporation) は1982年設立の中国国営企業であり、その他は、欧州及びラテンアメリカ企業である。

(9) 2019年のインフレ率は3.43%となる見込み (6日、当地紙報道)

国家統計庁によると、10月のインフレ率は0.16%となった。前年同月では、0.12%だった。2019年のインフレ率は3.43%となる見込みであり、2018年の2.75%から上昇した。過去12カ月間は、引き続いてインフレが進んでおり、3.86%となっている。前年同期の3.33%から上昇している。3%となっているインフレターゲットから大幅に上振れしているが、2~4%の範囲には収まっている。

(10) 9月の失業率は年内最高となる (1日、当地紙報道)

国家統計庁によると、9月の失業率は10.2%となった。雇用人口は47.4万人減少し、失業者は253万人となった。国家統計庁長官によれば、これは過去10年で最大の落ち込み。対照的に、13の主要都市の失業率は10.5%から10.1%へと回復した。また、キブド市及びペレイラ (Pereira) 市では、最も被雇用者数が減少した。

(11) 8月、対外債務がGDPの42.8%となる (13日、当地紙報道)

中央銀行は、8月に対外債務総額が1,358億1,800万米ドルに達したと発表した。2018年末の対外債務1,268億1,900万米ドルと比較して、89億9,900万米ドル (7.9%) 増加した。この内、公的債務は726億100万米ドルとなり、私的債務は632億1,200万米ドルとなる。総負債額は、GDP比で42.8%となり、前年同月の38.1%から悪化した。

(12) 過去5年間で株価が最高額となる(6日, 当地紙報道)

コロンビア証券取引所での株取引の指標となる Colcap 指数は, 2014年11月5日以来の最高値となる 1,665.69 ポイントとなった。年内に 25.6%上昇したこととなる。これは, 企業の好調な成績と現在の国内外の良好な経済状況によるものとみられる。

(13) 9月までに海外送金額が49億9,310万米ドルに達する(7日, 当地紙報道)

中央銀行は, 9月の海外に居住するコロンビア人労働者からの送金額が5億2,280万米ドルとなった旨, 発表した。年内の総額は49億9,310万米ドルとなり, 前年同期と比較して9.4%増加しているものの, これまでの上昇率と比較して減速している。過去12カ月では, 年間に換算して10%の増加となり, 総額67億5,700万米ドルとなる。依然, 米国とスペインが主な送金元となっており, パナマ, チリ, エクアドルが続いている。

(14) ECLACはボリビアとコロンビアが域内で最も貧困率が高いと発表(29日, 当地紙報道)

国際連合ラテンアメリカ・カリブ経済委員会(ECLAC)は, ラテンアメリカ社会に関する報告書において, コロンビアの極貧者の比率が10.8%と, 域内では, ボリビアに次いで, 2番目に高いと発表した。

(15) 全国ストライキが行われた始めの週だけで, 1兆4,000億ペソの損失(29日, 当地紙報道)

当地主要紙「エル・ティエンポ」紙が, 各労働組合からの聞き取りを参考に推計したところ, 全国ストライキが行われた始めの8日間での推定損失額は1兆4,000億ペソ(約4億4,000万米ドル)を超えた。最も影響を受けたのは, 商業部門で1,500億ペソ(約4,700万米ドル)となった。クリスマスシーズン前の営業時間が短縮されたことにより, 売上高は, 70~90%減少したとみられる。

<対外経済関係>

(1) ECLACはラ米・カリブ地域の経済成長の減速を予測(12日, 当地紙報道)

ECLACは, ラテンアメリカ・カリブ地域の経済成長に関する報告書を発表し, 地域の経済成長の減速を予測した。この報告書では, ラテンアメリカ・カリブ地域は2019年平均で0.1%の経済成長を見込んでいる。コロンビアの成長率は, 2019年で3.2%と見込まれているが, 2020年には3.5%となると予測されている。これは, ラテンアメリカでは, ボリビアに次いで2位の経済成長率となる。

(2) ハス種アボカドの対日初出荷(8日, 当地紙報道)

コロンビア農業学会(SAC)が主催する, コロンビア全国農業会議において, バレンシア農相は中西部(Eje Cafetero)及びバジェ・デル・カウカ県で生産された18.3トンのコロンビア産ハス種アボカドが, ブエナビントウーラ港から横浜港に向けて対日初輸出される旨, 発表した。

(3) 日本国政府は, 地雷除去機を提供(20日, 当地紙報道)

ドゥケ大統領は, ウィラ県ピタリト(Pitalito)市で開催された, 地雷除去機の供与式に参加し, 森下駐コロンビア日本国大使に感謝の意を示した。日本は, 地雷除去支援において5番目の支援国である。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

9月の実質小売売上高指数は前年同月比6.9%であった。

(イ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

9月の消費者信頼感指数 (ICC) は、▲10.7%と前月 (▲11.8%) を1.1ポイント上回り、前年同月▲0.7%を10.0ポイント下回った。

(2) 産業動向

(ア) 石油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

10月の石油生産量は日量88.3万バレルであり、前年同月比3%となった。

(イ) コーヒー

(i) 生産 (コーヒー生産者連盟 (FNC) 発表)

FNC加盟コーヒー生産者による10月のコーヒー生産量は137万袋 (1袋=60kg) となり、前年同月比26.5%となった。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

10月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=1.32ドル (前月は同1.31ドル、前年同月は1.39ドル) であった。

(ウ) エネルギー需要

10月のコロンビアのエネルギー需要は6,092GWh、前年同月比2.7%であった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

10月の消費者物価上昇率は0.16%、生産者物価上昇率は▲0.01%であった。

(イ) 雇用

10月の全国平均失業率は9.8%と、前年9.1%より0.7ポイント悪化した。また、主要13都市の平均失業率は10.4%と、前年同月の10.2%より0.2ポイント悪化した。

(4) 貿易収支 (DANE 発表)

9月の貿易収支 (FOB) は、9.2億ドルの赤字であった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比▲12.3%の30.80億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比3.8%の42.00億ドルとなった。

2 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	2018/9	2019/7	2019/8	2019/9
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	2.9	3.5	0.1	0.3
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	2.9	5.3	-0.1	1.3
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	5.9	8.5	9.5	6.9
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	213.9	192.2	163.5	166.7
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	18/10	19/8	19/9	19/10
(ア) 全国平均	9.1	10.8	10.2	9.8
(イ) 主要13都市平均	10.2	11.4	10.1	10.4
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	18/10	19/8	19/9	19/10
(ア) 前月比	0.12	0.09	0.23	0.16
(イ) 前年同月比	3.3	3.75	3.26	3.86
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	18/10	19/8	19/9	19/10
	4.25	4.25	4.25	4.25
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	18/10	19/8	19/9	19/10
(ア) 月初	2,972.18	3,291.79	3,427.29	3,477.45
(イ) 月末	3,202.44	3,427.29	3,462.01	3,389.94
(ウ) 最高値	3,202.44	3,477.53	3,462.01	3,497.34
(エ) 最安値	2,972.18	3,291.79	3,356.15	3,380.90
(6) 株式指数COLCAP (単位：ポイント，出所：COLCAP)	18/10	19/8	19/9	19/10
(ア) 月初	1,512.97	1,537.58	1,560.81	1,582.42
(イ) 月末	1,392.18	1,559.52	1,577.96	1,633.15
(ウ) 最高値	1,524.86	1,559.52	1,601.43	1,633.92
(エ) 最安値	1,392.18	1,503.00	1,560.81	1,574.83
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	18/9	19/7	19/8	19/9
(ア) 輸出額 (FOB)	3,499.4	3,271.1	3,256.6	3,079.8
(イ) 同 年内累計	6,374.5	23,574.3	26,812.4	29,902.1
(ウ) 輸入額 (CIF)	4,047.8	4,565.0	4,913.1	4,200.4
(エ) 同 年内累計	8,720.5	30,420.2	35,333.3	39,533.6
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	18/10	19/8	19/9	19/10
	613.1	625.5	552.8	596.9
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	18/10	19/8	19/9	19/10
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	9,462	9,734	9,734	9,734.00
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：ECONOMETRIA)	18/10	19/8	19/9	19/10
(ア) 単月	21,537	23,305	22,673	23,890
(イ) 年内累計	67,532	162,419	185,092	208,982